

海外安全対策情報（平成 26 年 4 月～6 月）

1 社会・治安情勢

ベラルーシでは反体制派による集会やデモが定期的に行われており、ベラルーシ当局との衝突や参加者が拘束されるケースも発生しています。不測の事態を避けるため、集会やデモに興味本位で参加したり、近づいたりすることは控えてください。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) ベラルーシ共和国内務省が発表した犯罪統計によれば、2014 年 1 月 1 日から 6 月 30 日までのベラルーシにおける犯罪総数は 46,737 件で、昨年同時期と比較し 1.3%減少していますが、犯罪別で見ると増加しているものもありますので、引き続き注意が必要です。また、未成年者による麻薬犯罪が増加しているとの報道もありますので注意してください。主な犯罪の内訳は以下のとおりです。

(ア) 窃盗	19,688 件 (前年比 11.6%減)
(うち住宅対象侵入窃盗)	5,219 件 (同 10.0%減)
(イ) 公然窃盗	1,164 件 (同 6.3%減)
(ウ) 恐喝	76 件 (同 31.0%増)
(エ) 詐欺	2,303 件 (同 40.2%増)
(オ) フーリガン犯罪	1,313 件 (同 37.1%増)
(カ) 殺人及び殺人未遂	223 件 (同 11.5%増)
(キ) 重傷傷害	452 件 (同 15.7%減)
(ク) 強盗	139 件 (同 7.9%減)
(ケ) 強姦及び強姦未遂	62 件 (同 4.6%減)

(2) 邦人被害事案は報告されていません。

(3) 2014 年 4 月～6 月における主な被害事案は以下のとおりです(当地の報道から作成)。

ア 4 月 19 日から 20 日にかけての深夜、ミンスク市独立大通りに面するアパートにて、17 歳の薬物中毒の青年が父親を惨殺した。

イ 5 月 20 日から 21 日にかけての深夜、ミンスク市の通警察パトロール巡査官が、28 歳の男性が運転する車にはねられ死亡した。窃盗、飲酒運転等の前科のある無免許の犯人は逃走を試みたが逮捕され、血中からはアルコールが検出された。

ウ 5 月 26 日夜、ブレスト州バラノヴィチ地区マラヤ・コルペニツァ市（ミンスクより

南西に 140Km) にて、ロシア人が車にはねられ死亡した。

エ 5月31日、ミンスク市のザヴォツキー地区にある、矯正発達・リハビリテーションセンターにて64歳の男性が50歳の妻を銃で殺害した後、車中で自殺した。

3 テロ・爆弾事件の発生状況

6月10日朝、クタイシ（グルジア）ーミンスク間の航空便にて、乗客の一人である1973年生まれのグルジア国籍者が、欧州の他の国へ飛行ルートを変更するよう要求、それに従わない場合は航空機を爆破するという脅迫のメモを機長に送るというハイジャック未遂事件が発生した。ミンスクに着陸後、国家保安委員会テロ対策グループが交渉した結果、犯人は自発的に投降した。乗客と乗組員は全員無事であった。

4 誘拐・脅迫事件の発生状況

本件事案は報告されていません。

5 日本企業の安全に関する諸問題

なし。

※上述事案は全体の一部の情報です。定期的に報道等を確認し、自身の安全確保に努めてください。